

「下水道展'26 東京」出展内容

「水を通して暮らしと社会を支える」という Mission の実現に向け、東京設計事務所が推進するソリューションについて、下水道展'26 東京では以下の4つの視点で展示します。

<持続可能な水インフラマネジメントの実現>

官民連携分野では、導入可能性調査、事業者選定支援、事業実施後のモニタリング・履行監視など、地方公共団体の実務支援に関する取り組みを紹介します。また、海外事業では、ODA 事業を中心に 69 か国で 300 案件を超える海外実績を有しており、上下水道・防災分野の専門家が、現地ネットワークと技術的知見を活用して取り組んでいる、下水道整備支援や国内技術の海外実証事業支援を紹介します。

<レジリエントな社会システムの構築>

気候変動に伴う気象災害への対応では、地方公共団体や専門企業と共同で研究開発した「気象避難支援システム」を紹介します。防災気象情報や「浸水発生の見通し」を地区ごとにタイムリーに配信し、地方公共団体の危機管理判断の迅速化や初動体制の早期構築に貢献する取り組みです。

<DX推進による事業効率化・高度化>

AI により下水道管路の劣化リスクを診断する技術を表示します。管路台帳、過去の劣化診断結果、地形区分・液状化危険度などのデータを活用し、改築が必要な管路を抽出することで、調査対象の優先順位付けを支援する技術です。

<グリーンイノベーションの推進>

豊かな海づくりやブルーカーボン創出に向けた栄養塩類供給管理について、構想・計画から法手続き、事業化検討、施設設計、運転管理、効果・GHG 排出量評価、合意形成まで総合的に支援する取り組みを紹介します。

多様化する下水道事業の課題解決に向けた当社の技術と実績を、ぜひブースでご覧ください。

